

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



慈愛の種を播きましょう
SOW THE SEEDS OF LOVE

2002~2003年度国際ロータリーのテーマ

例会記録 (2002. 11. 13 (水)) 通算1187回

ソング

「奉仕の理想」

来訪ロータリ
アン報告(小西)

小松 守道 様 (高砂R.C.)
加茂 良平 様 (高砂R.C.)
松田 怜 様 (高砂R.C.)

籠谷 啓一 様 (高砂R.C.)
植杉 安夫 様 (高砂R.C.)

出席報告
(澤田)

10月30日 会員数51名 欠席者 0名 出席率 100% <修正による>
11月13日 会員数50名 欠席者 24名 出席率 52%

ニコニコ報告

柿木 國夫 …… 地区大会が近づいてまいりました。11月22日・23日出席の程よろしくお願い致します。

地区ロータリー財団 ポリオ委員会

大森 千里 …… 11月のロータリー財団月間に因んで、本年度新設されましたポリオ撲滅募金キャンペーン委員会よりポリオに関する卓話をさせていただきます。

プログラム予定

11月13日(水)	11月20日(水)	11月27日(水)	12月4日(水)
卓話 大森千里 会員 「ポリオ撲滅募金 キャンペーンについて」	卓話 高砂警察署交通課長 「交通安全について」	地区大会報告	上期事業報告



会長 柿木 國夫 幹事 庄司 武 クラブ会報委員長 佐野 栄作

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

鹿間行雄 …… 申し訳ありません。急用の為早退させていただきます。
内海 薫 …… 早退します。

第18回 通算1129回

1. ガバナー事務所より

i) 4地区情報交換・交流会本登録の案内

日時 2003年1月25日(土) 26日(日)

場所 神戸ベイシェラトンホテル

青少年奉仕委員会での対応をお願いします。

ii) 地区大会部門別協議会(増強・拡大部門)におけるバズセッションの開催について

会員増強委員会よろしくをお願いします。

11月23日(土) 10:00~11:30

神戸ポートピアホテル「トパーズ」南館地下1階

iii) 「ロータリーの友」創刊50周年特集号の原稿募集

締切11月25日 こそって投稿下さい。

iv) 2001-2002年度地区会計決算報告が届いています。

2. 国際ソロプチミスト加古川より

チャリティーバザー開催の案内が届いています。

日時 2002年12月3日(火) 10:00~15:00

場所 加古川プラザホテル

例年通り、入場券1枚500円Boxを回しますので協力よろしくをお願いします。

3. 例会変更

明石R.C.

12/4(水) → 12/4(水) 18:15

親睦家族例会の為 於: レストラン・オルフェ

明石南R.C.

12/20(金) → 12/21(土) 移動例会 クリスマス家族会

12/27(金) → 休会 定款第5条第1節による

11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団の目標は「博愛、慈善教育または人道的という特質をもつ、明確かつ効果的プログラムの促進を通じて、

さまざまな国の国民に理解と友好関係を助長することである。」

先週はロータリー財団よりフランスへ2000年~2001年度の留学生、梶田純子氏に卓話をさせていただきました。今週は「ポリオ撲滅募金キャンペーン」について、地区の小委員会の大森千里会員によりますビデオと卓話をお願い致します。ピチャイラタクルR.I.会長も約束を守ろう、2002~2003年度の重点目標の一つはポリオプラスを支援しよう。2005年ロータリー創立100周年までにポリオ撲滅という目標を達成。最後の1%が私たちにとって最大の挑戦なのです。

先日もお願いしました中川きほちゃんの募金活動、皆様には色々と御協力を戴いておりますが、莫大な費用のため、もうしばらくご支援をよろしくお願い申し上げます。

地区大会が11月22日・23日に開催されますがご登録の皆様是非御参加下さいませお願い申し上げます。

本日のプログラム

卓話「ポリオ撲滅募金キャンペーンについて」

R.I.2680地区ポリオ撲滅募金キャンペーン(PEFC)委員会委員
大森千里(高砂青松R.C.)会員

ご承知の通り、11月はロータリー財団月間であり、R財団委員会には地区内33R.C.から卓話依頼を頂いており、地区委員が手分けをして卓話に訪問させていただいております。本日はロータリー財団の中でも、本年度新たに設けられましたポリオ撲滅募金活動キャンペーンについて話をさせていただきます。



ロータリー創立75周年を記念して「3Hプログラム」がロータリー財団に新設されました。3Hとは保健 Health、飢餓追放 Hunger、人間性尊重 Humanityの頭文字をとったもので、このうち保健分野での第1号プロジェクトはフィリピンに於けるポリオ撲滅のための予防接種5ヶ年計画事業でした。この事業は大成功をおさめ、フィリピンのポリオ患者発生は激減しました。これがロータリーのポリオとの関わりの第1歩でありました。

1988年、R.I.は3Hプログラムからポリオ撲滅プログラムを分離、独立させ一つの新しいプログラムとして発足させました。そこで世界中からポリオに罹患する小児を無くすため、ロータリーは当時世界中の低開発国で1年間に出生する約1億人の小児にポリオワクチンを5年間投与する費用として1億2000万ドル

の募金を募りました。ところが結果として2億4600万ドルと予想をはるかに越えた2倍もの募金が集まり、この募金が原動力となり、世界中からポリオの発生が激減し、R.I.は2000年までに地球上からポリオを撲滅させると宣言しました。しかし、この目標は達成できませんでしたが、ロータリー創立100周年の2005年には何とかポリオ発生を阻止するために、ポリオ撲滅キャンペーン活動を展開しているわけであります。

さてポリオとはどんな病気でしょうか。

日本語では急性灰白髄炎（Polyomyelitis）で弛緩性麻痺を起こす恐ろしい病気で、主として4歳以下の小児が罹患するため小児麻痺とも云われております。病原菌はポリオウイルスで経口感染により体内に入りますが、90%の人は不顕感染で全く無症状です。4～8%の人が感冒様症状を示しますが、約3%の人に無菌性髄膜炎、麻痺を来たします。呼吸筋の麻痺が起これば死亡する場合もあり、「鉄の肺」という医療器械が活躍しておりました。軽い風邪をひいたかと思っていると、ある日突然目がさめると手、足がブラブラに麻痺し全く動かなくなるという大変不幸な病気で、当時親にすれば恐怖の病気であり、日本では昭和22年届け出伝染病に指定されてからは発生数が毎年判明しましたが、昭和24年～昭和36年の間は毎年数千名の麻痺患者の発生がありました。特に昭和35年には北海道を中心にした大流行で、実に5606人も患者発生があり、当時やっと開発されておりましたセービン生ワクチンをソ連、カナダより緊急輸入し、その後毎年生ワクチン投与を継続した結果、昭和47年以後日本では野生ポリオウイルス感染による麻痺患者の発生はゼロになっており、野生ウイルス感染によるポリオは絶滅したといえますが、生ワクチン投与による麻痺患者が年間200～300万人に1人の割合で発生しております。

世界を見れば、1988年125ヶ国で約35万人の患者発生がありましたが、ロータリーのポリオ・プラス・パートナープロジェクトによるワクチン投与の結果2001年には10ヶ国、患者発生は461人、最も新しいデータである2002年8月現在では7ヶ国、211人に激減し、全世界からポリオは以前に比べ99%は撲滅できましたが、あと1%が残っております。この1%にあたる7ヶ国とは、インド131人を筆頭に、ナイジェリア47人、パキスタン26人、ザンビア2人、アフガニスタン2人、ニジェール2人、ソマリア1人の211人でありますが、これらの国々は主としてイスラム教の極貧地域であり、この撲滅には多額の費用が必要となります。

WHOの試算では今後ポリオ根絶のためには費用として米貨10億ドルが必要

であるといわれており、そのうち6億ドルは調達可能ですが、残り4億ドルが不足するといわれております。そこで資金計画としてこの4億ドルを米国の世界銀行から借り入れて充当させますが、この返済には世界銀行からの借入れは無利子である上、元本の40%即ち1億6000万ドルを返済すれば、残りは返済を免除してくれるという好条件であり、あとロータリー財団5500万ドル、ビル・ゲイツ財団が2500万ドルを出してくれますので、残り8000万ドルの不足であり、これをロータリアンの募金で返済する計画であります。日本はこの8000万ドルのうち20%の1億6000万ドルを受け持つわけで、日本の全ロータリアン数11万2000人で割りますと1人当たり150ドルとなります。キャンペーン期間は、2002年7月1日～03年6月30日までの1年間ではありますが、募金額を誓約してもらえば、3年分割支払いでもよいことになっております。各ロータリアンに募金をお願いするわけですが、金額も大切ですが暖かい心を結集できる様に各クラブで工夫して下さい。

日本のロータリアンは奉仕の理論やロータリーの歴史を論じることに忙しく、ロータリーの本質を理解しようとする努力がなされませんでした。Serviceを奉仕と訳したことにも原因があるかもしれませんが、奉仕とは「人の為に金銭にかかわらず尽くすこと」「責任を持って自分の務めを果たすこと」を意味しております。国際社会において今ロータリーが責任を持ってやらねばならないことの第1番が99%まで達成できたポリオの撲滅をやり遂げることであります。